1

歴史資料でたどる大津事件　～大津事件から１３０年～

日時：令和3年7月１０日（土）　１０：００～１３：００
場所：大津市立逢坂公民館
受講生：１９名
講師：滋賀大学教育学部教授　神部　純一 氏
　　大津市歴史博物館学芸員　高橋　大樹 氏
協力：大津市歴史博物館館長　押栗　雅則 氏
視察：高島市教育委員会教育総務部社会教育課
　　中川　万寿枝 参事、山本　満 参事

【講座内容】
〇開講式、「おおつ学」について、オリエンテーション
〇歴史講話『歴史資料でたどる大津事件』
〇意見交換会、まとめ

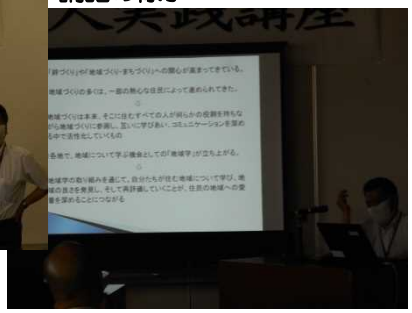
【概　要】
　開講に伴うあいさつと「おおつ学」についての講話の後、事件から 130 年経った大津事件について、残された歴史資料からその犯行動機、至った要因に迫りながら深く知ることができた。また、意見交換会ではグループ名、グループリーダーを決め、本日の振り返りを行った。

【受講生のことば】
　西南戦争での従軍で勲七等を受けた津田三蔵巡査がなぜロシア皇太子を切りつけたのか？津田三蔵が滋賀県巡査に応募した時の履歴書や事件の尋問調書、新聞報道から犯行動機を探り、民間人が書いた日記や短歌、西南戦争で死んだ西郷隆盛がロシアで生きていてロシア皇太子とともに帰国するという噂、手に取るようにわかる現場検証図など、興味深い資料が残っていることを知ることができた。また、当時の列強の一つであるロシア帝国の艦隊が神戸港にいる中で事件が発生し、まだ発展途上であった日本が武力報復されかねない緊迫した状況下で、行政の干渉を受けながらも司法の独立を維持し、三権分立の意識を広めた近代日本法学史上重要な事件とされているが、本日の講話はそれがよく分かった。　（河野　安明 氏）

【当日の様子】

「おおつ学のすすめ」

講話の様子



意見交換会の様子

歴史講話の様子